

## 平成30年度計画重点項目

### 1. 社会情勢の変化や地域ニーズに対応した大学改革

高等教育機関を取り巻く社会情勢の変化や、地域及び時代のニーズに的確に応えるため、各キャンパスにおいて大学改革を着実に推進する。

- 島根県が策定する中期目標を踏まえ第3期中期計画を策定する。(No.1)
- 島根県や地域のニーズに合わせながら、改革本部を中心に迅速かつ戦略的に改革を実行する。(No.1)
- 総合政策学部の改編による新学部学科の基本計画を策定する。(No.1)
- 人間文化学部、看護栄養学部、短期大学部において円滑な教育研究をスタートさせるとともに、受験生確保のため積極的な広報を継続する。(No.1)

### 2. 地域と協働した社会貢献の推進

島根県立大学憲章に謳う「地域ニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」を実現するため、地域と協働しながら社会貢献活動を推進していく。

- 平成31年4月に「しまね地域共創研究センター（仮称）」を設置し、自治体、県内中小企業、NPO法人、中山間地域研究センター等の教育研究機関と連携した地域課題解決に取り組む体制づくりをおこなう。(No.1,54)
- 地域連携推進センターの機能強化を検討し、実践力育成など地域教育の充実を図る。(No.54)
- 県内就職率向上に向け、島根大学、ジョブカフェしまね等と連携し、学生が県内企業を知る機会となるイベント開催に協力するとともに県内企業とのマッチングを促進する。(No.9,10,36)

### 3. 学生確保、教育内容及び学生支援の充実強化

大学間競争がますます激化していくことを踏まえ、将来を見据えた学生募集活動に注力するとともに、本学の特色を打ち出していけるよう、教育内容やキャリア支援の更なる充実を図る。また、高大接続システム改革による新たな大学入学者選抜への対応等、着実に準備を進める。

- 大学入学者選抜改革への対応及び県内入学者比率の向上を図るため、全学入試制度検討委員会で全学的な制度設計を行うとともに、各キャンパスにおいては個別の制度設計を行う。入試制度変更の「2年程度前予告」をH30年中に実施する。(No.2)
- 各キャンパスにおいて、授業アンケートや授業公開、学外の意見聴取など、授業改善に向けた取り組みを行う。(No.25,27)
- 平成31年度の認証評価を受けるため、自己点検・評価を行う。また、評価で重視される内部質保証について、既存の組織体制の強化や質保証の取組みの充実を図る。(No.83)
- 県が設置した島根県インターンシップ推進協議会へ参画し、インターンシップの推進に向けた具体的な方策を検討するとともに、本協議会に参画する経済団体等が求めるニーズを把握し、インターンシップ教育に反映させる。(No.10)

### 4. 国際交流、海外留学等の促進

島根県立大学憲章に謳う「北東アジアをはじめとする国際社会の発展に寄与する大学づくり」を実現するため、グローバル（グローバル）人材の育成に引き続き取り組む。

- 北東アジア地域研究センターでは、大学共同利用機関法人 人間文化研究機構及び他の研究拠点機関と連携して「北東アジア地域研究推進事業」を着実に実施する。(No.50)
- 「異文化理解研修」、「異文化研修」、「海外語学研修」等の多様な海外短期研修プログラムを周知し、全キャンパスの学生がより多く参加するよう努める。(No.61)